

これまでの取り組みを 振り返って

司会 今年で3年目となる「HOTトライアングル」の交流連携ですが、まずはHOTの「H」、姫路市の石見市長から、3市のこれまでの交流や連携を振り返ってお話してください。

連携を活かした今後の設計が重要

石見利勝姫路市長 昨年4月に開催した姫路菓子博2008には、竹内市長、高谷市長をはじめ



め市民や経済界のみならず、皆さんもおいでいただき、交流が大いに進みました。

EARTH（東方地域都市計画住宅機構）姫路・兵庫世界大会2008、姫路国際音楽祭ル・ポン2008には、それぞれの市にいろいろとご協力いただきました。

さらに、岡山市と鳥取市の名産品を姫路市で販売した農林漁業まつりでは、非常にたくさん売りがあがり、両市のみならずにもご満足いただけました。

一方、観光の分野では、単に見て歩くと

三都市が手を携え、さらなる交流の活性化へ

姫路市、岡山市及び鳥取市は、江戸時代に池田家が築いた城下町です。この歴史的な結びつきをもとに、地域の発展をめざし、市民交流の促進や地域情報の相互発信の取り組みを推進しています。

4月26日（日）、とりぎん文化会館で3市の各種団体の方々が集い、それぞれの市の観光PR、芸能披露などが行われた後、3市の市長が「未来を拓く都市連携」と題して鼎談しました。

問い合わせ先

市役所本庁舎企画調整課

TEL (0857) 20-3153

いうだけではなくて、その地域の人々の生活や歴史に基づいた、「うちく」をバックにした教養的・体験的観光旅行を展開したいですね。そういうことになれば、やはり3市の連携が非常に意味を持ってきますので、これをいかにして設計していくかということが重要になってまいります。

司会 続いて、HOTの「O」にあたる岡山市の高谷市長、お願いします。

3市が共同で無駄のない行政を

高谷茂男岡山市長 3市が共同で、これからは無駄のない行政をやっていくかといかないと思います。姫路や鳥取にあるものは我々も利用させてい



ただき、空港などは岡山を利用していただけ、ということですね。これからの地方のあり方、行財政改革に関わることも含めて連携していけたらと思います。

また、それぞれの市の問題を集約して、市民サービスはいかにあるべきかななどを考えて、国にも3市で連携し提言していきたいと思っています。

司会 では、HOTの「T」、鳥取市の竹

内市長、これまでの取り組みについてどう考えておられますでしょうか。

市民の理解のもとに交流

竹内 功 たけうち いさお **鳥取市長** HOTT トライアングルの連携の中で、市民レベルの交流が順調に進んできた3年間だったと思っております。

姫路市と鳥取市は35年以上にわたって姉妹都市としての交流をベースに持っております。岡山市とも、中国地方の都市として、市長会



などで交流があつたわけですが、こうして3市が合わさつての交流は平成19年の協定調印以後ということになります。3市の交流が、これからも市民の理解をいただきながら、どんどん進んでいくのではと感じているところです。

連携とまちづくりの取り組み

司会 さて、3市それぞれのまちづくりを踏まえた今年度の取り組みを伺います。高谷市長、岡山市は政令指定都市になりまし



HOT トライアングル連携軸

た。新たな飛躍の年になりそうですね。

全国で18番目の政令指定都市に

高谷市長 4月1日、市民とともに待ち望んだ、全国で18番目の政令指定都市に移行することができました。中四国では、広島市に次ぐ2番目です。非常に厳しい財政状況の中、今まで3年半、行財政改革に取り組んできました。都市ビジョンに沿って、市民が安心して安全に暮らせるまちをつくりたいと思っております。

また、「全国都市緑化おかやまフェア」には、両市からも芸能披露や特産品の販売などご参加いただき、ありがとうございます。

これからは、「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市 岡山」らしい政令市をつくりたいと考えております。

司会 では、石見市長、姫路市には観光という大きな産業があるとおっしゃいましたが、まちづくりはどのように図られますか。

観光と地産地消を推進

石見市長 観光の基本はもてなしの心。もてなしの基本は美しいまちです。市民のみなさんと美しいまちをつくらうと進めています。駅に新しい観光案内所をつくり、観光パスポートもここで発行していますので、ぜひおいでください。

観光と一緒に進めたいのが、地産地消です。



姫路市は兵庫県下有数の農林水産業を有するまちであり、この地産地消をより一層進めるための工夫が必要です。

もう一つは、教育。子どもたちは教科書を読んでいるだけでは全然勉強する気になりませんが、体験させるととたんに興味を持って勉強し始めます。その体験の

仕組みをいかにうまく作っていくかですね。

さらに、今、姫路市が頑張っているのが生涯現役プロジェクト。長寿社会という素晴らしい社会が実現しましたので、長生きしてよかったなと思えるまちをつくっていかうとしています。

司会 では竹内市長、今年度はいよいよ鳥取自動車道が開通します。ますますHOTOライアングルの交流が進みそうですが、この高速道路が開通する記念のイベントがたくさん開かれていますね。

鳥取自動車道の開通を機に

竹内市長 今年は鳥取自動車道開通の年ということで、「2009鳥取・因幡の祭典」に取り組んでいます。このオープンングイベントであり、5月末まで開催している世界

3都市の交流の歩み



3都市交流の発展を祈念し、(財)旧関谷しずたに学校顕彰保存会から「楷の木」が3市に贈呈されました。池田家が関谷学校を設立したのが縁で、楷の木は「学問の木」とも呼ばれています。昨年10月29日に鳥取市役所本庁舎前に植樹されました。



平成19年2月13日、**平**連携・交流に関する協定書に調印を行い、3都市交流が始まりました。これを記念し、8月18日に岡山市で交流行事を行い、「池田家が築いた三都市」と題して柴田一就実大学名誉教授にご講演いただきました。

市民団体交流も盛んで、3市の男女共同参画登録団体が集まって研修会を開催しています。今年は10月3日に鳥取市で開催する予定です。

今後の交流連携への展望

砂像フェスティバルでは、新しい鳥取の砂の文化を体験していただきたいと思っています。この鳥取・因幡の祭典も、各地域の観光資源に磨きをかけ、地域のお祭り、景観、観光施設やお店を紹介する機会にしようとして、情報発信にも力を入れております。

一方、「山陰海岸ジオパーク」という地質の面からの取り組みを始めています。兵庫県但馬地域、京都府丹後半島あたりをエリアとした、砂丘のような砂浜、岩肌が美しい山陰松島と言われる海岸線などの地形的な多様性、歴史を多くのみなさんに見て勉強していただこうと考えています。

司会 それぞれの地域のまちづくりの取り組み、課題をお話いただきました。それでは、HOTOライアングルの交流連携の今後の展望を伺っていききたいと思えます。まずは、竹内市長から。

竹内市長 3市の市民交流、行政や議会の交流が3年たったというのは、一つの区切りと考えているところです。今後に向けて、これまでの経験や積み重ね、可能性も考えて、提言を3つさせていただこうと思っています。

提言1 市民・経済交流の拡大

まずは、3市の市民交流、経済交流をど

んどん拡大していこうではないかということとであります。自治会や婦人会などの団体交流に、行政もできるだけ支援して交流を盛んにし、3市の市民が、お互いの市を自分のまちと感じられるような親近感を持つて接することができたら、非常にすばらしいと思います。

■提言2 広域観光ルートの確立

2番目は、城下町物語推進協議会として、池田家のつながり、あるいは現在残るお城を核とした観光という面で、特に外国人観光客の受け入れにも力を入れる必要があると思います。その中で、3市を巡るモデルツアーを、民間の旅行会社や観光協会と一緒につくって、モニターツアーを行い、どこが魅力的か、改善すべき点はどこか、そういったことを総括しながら観光ルートづくりを進めていってはどうでしょうか。

■提言3 交通アクセスの向上

最後に、3市を結ぶ交通アクセスについてです。鉄道やバスが連携して、3市を旅行で巡りやすくすること。これはぜひ実現していきたい。3市がもっとぐんと近い関係になるように、いろんな面で具体的な取り組みを実現できたらと思います。

司会 3つの提言がありました。これについては石見市長、いかがでしょうか。

それぞれの都市で開催される毎年恒例の祭りにも、相互に参加しています。写真右は昨年8月2日の第59回姫路お城まつりのようすで、上は岡山城鉄砲隊、下は本市のしゃんしゃん傘踊りです。

また、昨年8月8日の鳥取しゃんしゃん祭（写真左下）では、姫路市右扇会が、傘踊りを披露しました。



昨年10月5日には岡山市の京橋で「第20回全国有名朝市」が開催され、姫路市と本市から出店しました（写真上右）。

また、翌月の11月1～2日に本市で開催された「とっとり自然のめぐみ感謝祭」には姫路市が（写真下）、その翌週の8～9日の姫路市農林漁業まつりには岡山市と本市が出店しています（写真上左）。



空路、水路、陸路を組み合わせて

石見市長 市民の経済交流やイベント交流は、すでに市民のみならず、歴史的な知識や産業への理解、あるいはうまいものへの理解をどんどん進めていきたいと思っています。

また岡山と鳥取は空港を持つておられます。姫路は今年開港50周年を迎えた港を持っていますので、空路、水路と陸路、鉄道やバスをうまく組み合わせるなど、3都市を結ぶ交通アクセスの向上には、そういう設計が必要になってくると思います。

3市を周遊する観光客の増を

高谷市長 観光関係の各課がイベント情報を交換して、例えば鳥取で行われるコンベンションに岡山から行く、姫路から来てもらう、というようなことをやってみたらどうでしょうか。来年は、3市を周遊する観光客がたくさん訪れるような成果を出しましょう。

竹内市長 私が提言した3点について前向きなご意見をいただきました。ぜひ官民あげて連携を進めたいと考えます。

3市がいわば一つのまちになるという気持ちで連携し、それぞれの資源や可能性を活かし合うことが、課題ではないかと思えます。幅広い交流が広がる中で、これらが実現することを希望し、期待していききたいと思います。